



麦類生産費統計調査票【はだか麦】

(個別経営体用)

「農業簿記 11 (ソリマチ)」を活用した調査票

記入マニュアル

農林水産省

大臣官房統計部
経営・構造統計課

農林水産省

目 次

はじめに

「農業簿記 1 1」での初期設定・・・・・・・・・・ 1

部門や補助科目の設定、補助科目一覧表・・・・・・・・ 2、3

調査票の記入

1：経営の概況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4、5

2：生産物の販売等の状況・・・・・・・・・・・・・・ 6～9

3：対象品目の麦生産のために使用した資材等・・・・ 10～19

4：物件税及び公課諸負担・・・・・・・・・・・・・・ 20、21

5：土地改良及び水利費・・・・・・・・・・・・・・ 22、23

6：借入金（買掛未払金を含む。）及び支払利子・・・・ 24、25

7：建物及び構築物（土地改良施設を含む。）

の所有状況・・・・・・・・・・ 26、27

8：自動車（自動二輪・三輪を含む。）の所有状況・・・・ 28、29

9：農業機械（生産管理機器を含む。）の所有状況・・・・ 30、31

10：農具の購入費等・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 32、33

11：土地の面積及び地代・・・・・・・・・・・・・・ 34～37

12：作業別労働時間・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 38、39

＜記入上の注意事項＞

1. 調査項目欄については、右詰で記入してください。
2. 記入に際しては、黒の鉛筆またはシャープペンシルを使用し、間違えた場合は消しゴムできれいに消してください。
3. 回答もれや回答誤りがないか、最後にもう一度ご確認ください。

※ 数字は枠からはみ出さないよう、楷書でていねいに記入してください。
※ 調査項目の具体的な説明については「調査票の記入の仕方」を参照してください。

はじめに

「農業簿記11」での初期設定

農業簿記のデータを用いて、はだか麦生産費の調査票を記入する場合、事前に畑作部門を設定しておくほか、調査項目を農業簿記に設定しておく必要があります。

なお、麦しか生産していない場合は部門の設定は必要ありません。

（取引事項が発生した時点で、設定することも可能です。）

畑作部門の設定は、一番最初の起動時に、案内に沿って進めていくことで、設定されます。後から設定する場合は、以下の手順で行います。

- 1 メニュー画面
- 2 初期を選択
- 3 基本を選択
- 4 部門設定を選択

（詳細は、農業簿記「導入マニュアル」を参照してください。）

また、麦生産費用の調査項目を設定する場合は、補助科目機能を利用し、勘定科目の内訳を作成します。

例えば、農薬費の内訳として、除草剤、殺虫剤、殺菌剤を設定する必要があります。

（3頁に一覧表があります。）

以下の手順にて、はだか麦生産費用の調査項目を設定してください。

- 1 メニュー画面
- 2 初期を選択
- 3 基本を選択
- 4 勘定科目設定を選択
- 5 補助科目設定のボタンが表示されるので、クリックして、分類（売上、経費、負債等）別に、設定します。

＜記入上の注意事項＞

1. 「農業簿記 1 1」で、把握できない項目については、「記入の仕方」を参考にして、調査票に直接ご記入ください。
2. また、記入内容について、職員や専門調査員から照会等させていただく場合がございますので、ご理解いただきますようお願いいたします。

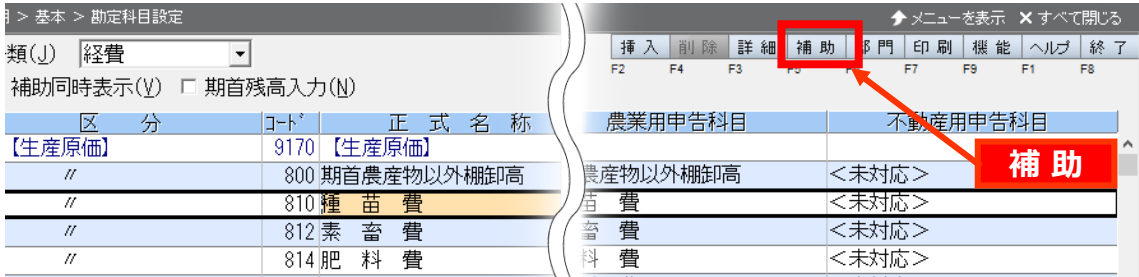
畑作部門の設定

複数の品目を生産・販売している場合は、「畑作部門」を事前に設定します。以下の図はソリマチ「農業簿記11」の起動画面「ダイレクトメニュー」です。
ここから、横【初期】⇒縦【基本】⇒メニュー【部門設定】と進みます。

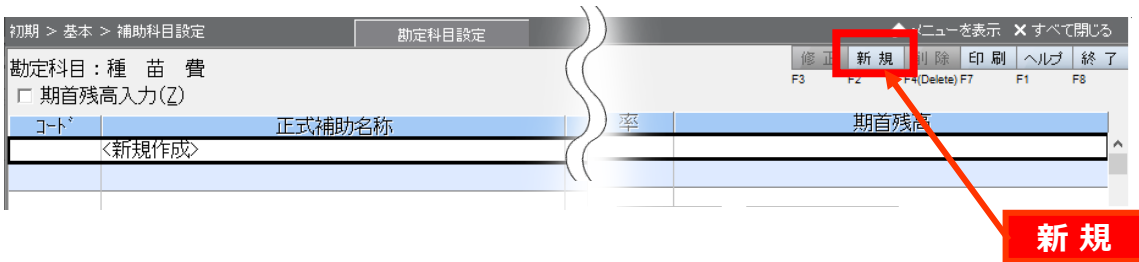


補助科目の設定

ダイレクトメニューで【初期】⇒【基本】⇒【勘定科目設定】と進みます。
補助科目を追加したい勘定科目を選択し、上部タブメニューの【補助】を選択



「補助科目設定」画面から【新規】⇒入力フォームが表示されるので【正式補助名称】の記入と【税率】の設定を行い【設定】ボタンを押すと登録されます。



はだか麦生産費における補助科目（設定例）

損益計算書（勘定科目）⇒《経常損益の部》

【売上高】売上高				【販売費一般管理費】			
売上高	はだか麦に係る収入	賃借料	薬剤散布共同負担金	公租税	農業協同組合費		
	はだか大麦（1等）		共同施設負担金		農事実行組合費		
	はだか大麦（2等）		農機具借料		農業共済組合賦課金		
	はだか大麦（規格外A）		その他				
	はだか大麦（規格外B）	地支払	はだか麦（K団地）	損害保険料	自動車保険料		
	はだか大麦（規格外C）		はだか麦（L団地）				
	麦わら（販売用）						
くず麦							
【生産原価】期首農産物以外棚卸高				[営業外損益の部]			
種苗費	種子	作業委託料	航空防除費	【営業外収益】制度受取金			
			賃耕料	助成金収入	水田活用の直接支払交付金		
肥料費	窒素質肥料		は種・定植料		戦略作物助成金		
	りん酸質肥料		収穫請負わせ賃		産地交付金		
	カリ質肥料		乾燥調製料		畑作物の直接支払交付金		
	けい酸質肥料	その他	面積払				
	炭酸カルシウム	土地改良水利費	ほ場整備事業維持負担	数量払			
	複合肥料		ほ場整備事業償還金	受取共済金	農業共済		
	土壌改良資材		農地開発事業				
	たい肥・きゅう肥		かんがい排水事業				
	その他		農道整備事業				
農薬費	殺虫剤	水利組合費	雇人費	流動負債	買掛金		
	殺菌剤	揚水ポンプ組合費					
	殺虫殺菌剤	その他				男雇用	
	除草剤					女雇用	短期借入金
	その他						
動力光熱費	重油	【販賣費一般管理費】		固定負債	長期借入金		
	軽油	租税公課	固定資産税・建物		△△資金（トラクター用）		
	灯油		固定資産税・農機具		××資金（コンバイン用）		
	ガソリン		不動産取得税（土地以外）				
	潤滑油		自動車取得税				
	混合油		水利地益税				
	電力料		都市計画税				
	その他		共同施設税				
修繕費	建物修繕費		軽・自動車税				
	農具修繕費	自動車重量税					
	車修繕費	自賠責保険					
		集落協議会費					

※ 上記以外でも普段使用しているものがあれば、随時追加しておいてください。

【1】経営の概況

- 1 経営耕地
- 2 世帯員数と農業就業者数等
- 3 認定農業者の状況
- 4 直近5か年の10a 当たり収量
- 5 対象品目の麦生産における作業委託の状況
- 6 対象品目の麦の品種別作付面積

調査票 P3

「経営の概況」1～6項

左記6項目に関しては、「農業簿記11」では対応しておりません。
麦類生産費統計調査票【はだか麦】「調査票の記入の仕方」を参照しご記入願います。

制度受取金等の状況

ダイレクトメニューで【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】と進みます。
合計残高試算表 ⇒ 集計範囲：決算 ⇒ 部門：畑作部 ⇒ 表示タイプ「補助表示」にチェック
を入れて、損益計算書を選択し印刷します。
事前に、「農業共済」、「戦略作物助成金」、「面積払」等の補助科目を設定しておきます。

ここでは、印刷した試算表の「残高」を見て、調査票に記入していくことを前提とします。
また、わかりやすいよう補助科目は赤字にしています。
(以下、同様です。なお、実際に印刷されたものは黒字です。)

損益計算書		全部門			
勘定科目	繰越	借方金額	貸方金額	残高	構成比(%)
《経常損益の部》					
[営業損益の部]					
【販売費一般管理費】					
共済掛金					
農業共済				106,000	
[営業外損益の部]					
【営業外収益】					
助成金収入				2,778,950	
戦略作物助成金				1,156,750	
産地交付金				425,000	
面積払				701,000	
数量払				672,606	

7 制度受取金等の状況

区分		掛金(円)					受取金(円)				
		万	千	百	十	個	万	千	百	十	個
農業共済		1	0	6	0	0	6	9	0	0	0
水田活用の直接支払交付金	戦略作物助成						1	1	5	6	7
	産地交付金						4	2	5	0	0
畑作物の直接支払交付金	面積払						7	0	1	0	0
	数量払						6	7	2	6	0

【2】生産物の販売等の状況

調査票 P5

1 対象品目の麦（はだか麦）の品質・用途別の販売状況等（玄麦換算）

区 分		内 容 例 示	数 量 (kg)				金 額 (円)			
販 売 用 （ 予 定 を 含 む 。）	1 等（計）		万	千	百	十	万	千	百	十
			9	6	0	0	2	2	5	6
		農産物検査において「1等」と判定されたもの								
	2 等（計）									
		農産物検査において「2等」と判定されたもの								
自 家 用	規格外A（計）									
		農産物検査において「規格外」と判定されたもののうち、Aランクのもの								
	規格外B（計）									
		農産物検査において「規格外」と判定されたもののうち、Bランクのもの								
自 家 用	規格外C									
	その他	農産物検査において「規格外」と判定されたもののうち、Cランクのもの								
	食 用	種子用のほか、1・2等や規格外と同等の品質を有するもの								
	種 子 用	食用に仕向けた（予定を含む。） 1・2等、規格外Aのもの								
	規格外B	種子用に仕向けた（予定を含む。） もの								
	規格外C	自家用に仕向けた（予定を含む。） 規格外のうちBランクのもの								
自 家 用	規格外C	自家用に仕向けた（予定を含む。） 規格外のうちCランクのもの								
	その他	食用、種子用、規格外B・C以外に仕向けた（予定を含む。）もの								

販売用（予定を含む。）の記入

ダイレクトメニューで【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】と進みます。
合計残高試算表の決算・畑作部門・損益計算書を印刷します。

この事例では、売上高の補助科目として「はだか麦（1等）」、「はだか麦（2等）」等を設定しました。

損益計算書		畑作部門			
勘定科目	繰越	借方金額	貸方金額	残高	構成比（%）
《経常損益の部》					
[営業損益の部]					
【売上高】					
はだか麦に係る収入				232,800	
はだか麦（1等）				225,600	
はだか麦（2等）					
はだか麦（規格外A）					
はだか麦（規格外B）					
麦わら（販売用）				4,500	
くず麦				2700	

販売用及び、自家用の数量の記入

「農業簿記11」では対応しておりません。
麦類生産費統計調査票【はだか麦】「調査票の記入の仕方」を参照しご記入願います。

【2】生産物の販売等の状況（続き）

調査票 P 6

3 麦わら、くず麦の販売状況等

(1) 麦わら

区 分	内 容 例 示	数量の 割合 (%)	金 額 (円)
販 売 用	麦かん、麦わら加工品、麦ぬか、ふすま等	3 0	4 5 0 0
自 家 用	販売していない麦わら全般	7 0	
うち無評価分	刈取機の切断わらや野積み等のわら	8 0	
計		1 0 0	

(2) くず麦

区 分	数量の 割合 (%)	販 売 用	自 家 用	そ の 他 (廃 棄 等)
く ず 麦	1 0 0	3 0	1 0	6 0

区 分	販 売 金 額 (円)
く ず 麦	2 7 0 0

麦わらとくず麦等の販売金額

ダイレクトメニューで【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】と進みます。
合計残高試算表の決算・畑作部門・損益計算書を印刷します。

この事例では、売上高の補助科目として「麦わら（販売用）」、「くず麦」を設定しました。

損益計算書

畑作部門

勘定科目	繰 越	借方金額	貸方金額	残 高	構成比 (%)
《経常損益の部》					
[営業損益の部]					
【売上高】					
はだか麦に係る収入				232,800	
はだか麦（1等）				225,600	
はだか麦（2等）					
はだか麦（規格外A）					
はだか麦（規格外B）					
麦わら（販売用）				4,500	
くず麦				2700	

麦わら、くず麦の「数量の割合」

「農業簿記11」では対応しておりません。
麦類生産費統計調査票【はだか麦】「調査票の記入の仕方」を参照しご記入願います。

【3】対象品目の麦生産のために使用した資材等

調査票 P6

1 種苗費

(1) 種子 (購入)

品 種 名	数 量	単 位	金 額 (円)				
計		—		万	千	百	十
			3	5	0	0	0

(2) 種子 (自給)

品 種 名	数 量	単 位

種苗費 (購入金額)

ダイレクトメニューで【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】と進みます。
合計残高試算表の決算・畑作部門・損益計算書を印刷します。

この事例では、種苗費の補助科目として「種子代」を設定しました。

損益計算書

畑作部門

勘定科目	繰 越	借方金額	貸方金額	残 高	構成比 (%)
《経常損益の部》					
[営業損益の部]					
【生産原価】					
種苗費				35,000	
種子代				35,000	

種子の購入及び自給数量

「農業簿記 1 1」では対応しておりません。
麦類生産費統計調査票【はだか麦】「調査票の記入の仕方」を参照しご記入願います。

【3】対象品目の麦生産のために使用した資材等（続き）

調査票 P7

2 肥料費

(1) 購入

資 材 名 等		数 量	単位	金 額 （ 円 ）				対象品目 負担割合 (%)		備 考 欄
計			—		万	千	百	十		
窒 素 質	ノウスイ硫安	1000	kg		4	7	0	0	0	2 5
りん 酸 質										
カ リ 質										
け い 酸 質										
(炭 酸 灰 カ ル シ ウ ム 含 む。)										
複 合 肥 料	パワー△△号	10020	kg		7	1	6	4	3	0 2 5
土 壌 改 良 資 材										
たい肥・きゅう肥		500	kg			1	0	7	5	2 5
そ の 他			—			9	0	0	0	2 5

※融雪剤として使用した
分は「5 諸材料費」
に記入してください。

微生物資材、液肥、農
薬入り肥料、ペースト
肥料、苦土質肥料、微
量要素肥料、有機質肥
料など

※融雪剤として使用した
分は「5 諸材料費」
に記入してください。

微生物資材、液肥、農
薬入り肥料、ペースト
肥料、苦土質肥料、微
量要素肥料、有機質肥
料など

肥料費

ダイレクトメニューで【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】と進みます。
合計残高試算表の決算・畑作部門・損益計算書を参照します。

この事例では、前年に購入したものは投入しておりません。
また、肥料費の補助科目として「窒素質肥料」「複合肥料」等を設定しています。

損益計算書		畑作部門			
勘定科目	繰 越	借方金額	貸方金額	残 高	構成比 (%)
《経常損益の部》					
[営業損益の部]					
【生産原価】					
種苗費				35,000	
種子代				35,000	
肥料費				773,505	
窒素質肥料				47,000	
複合肥料				716,430	
たい肥・きゅう肥				1,075	
その他				9,000	

【3】対象品目の麦生産のために使用した資材等（続き）

調査票 P7

2 肥料費（続き）

(1) 購入

資 材 名 等	数 量 (kg)				対象品目 負担割合 (%)
計	万	千	百	十	
た い 肥					
き ゆ う 肥					
稲 ・ 麦 わ ら			5 6 0		2 5
そ の 他					

3 農業藥劑費

資 材 名 等		金 額 （ 円 ）					対象品目 負担割合 (%)	備 考 欄	
計				万	千	百	十		
殺虫剤									
殺菌剤	〇〇乳剤			4	9	0	7	0	2 5
殺菌剤									
除草剤	△△フロアブル			5	1	5	9	3	6 2 5
そ の 他									

植物成長調整剤、展着剤、生産に使用する農具及び資材の殺菌・消毒剤など

自給肥料の投入量

「農業簿記 11」では対応していません。
麦類生産費統計調査票【はだか麦】「調査票の記入の仕方」を参照しご記入願います。

農業薬剂費

ダイレクトメニューで【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】と進みます。
合計残高試算表の決算・**畑作部門**・損益計算書を参照します。

この事例では、前年に購入したものは投入していません。
また、農薬費の補助科目として「殺虫剤」「殺菌剤」等を設定しています。

損益計算書

畑作部門

勘定科目	繰越	借方金額	貸方金額	残高	構成比 (%)
《経常損益の部》					
[営業損益の部]					
【生産原価】					
種苗費				35,000	
肥料費				773,505	
農薬費				565,006	
殺虫剤					
殺菌剤				49,070	
殺虫殺菌剤					
除草剤				515,936	
その他					

【3】対象品目の麦生産のために使用した資材等（続き）

調査票 P8

4 光熱動力費

資 材 名 等		数 量	単位	金 額（円）				はだか麦 負担割合 （%）
購 入（計）			—	万	千	百	十	
動 力 燃 料	重 油		L					
	軽 油	970	L	1	0	4	7	25
	灯 油	453	L		3	3	0	15
	ガ ソ リ ン	135	L		1	8	0	15
	潤 滑 油		L		2	7	6	15
	混 合 油		L					
電 力 料			—		4	0	6	15
そ の 他 （水道料、木炭などの燃料）			—		1	3	5	15
自 給	薪	20	kg					15

5 諸材料費

資 材 名 等		数 量	単位	金 額（円）				対象品目 負担割合 （%）
購 入（計）			—	万	千	百	十	
				1	6	0	0	25
自 給	なわ	10	m					25

光熱動力費及び諸材料の購入金額

ダイレクトメニューで【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】と進みます。
合計残高試算表の決算・畑作部門・損益計算書を参照します。

この事例では、動力光熱費の補助科目として「重油」、「軽油」等を設定しています。
なお、動力光熱費について、事前に部門別に仕分ける事が困難な場合は、
共通部門として入力しておき、「全部門」を選択して、計算させます。

損益計算書		畑作部門			
勘定科目	繰 越	借方金額	貸方金額	残 高	構成比（%）
《経常損益の部》					
[営業損益の部]					
【生産原価】					
種苗費				35,000	
肥料費				773,505	
動力光熱費				237,689	
重油					
軽油				104,760	
灯油				33,069	
ガソリン				18,090	
潤滑油				27,600	
混合油					
電力料				40,670	
その他				13,500	
諸材料費				16,000	
育苗用土					
その他					

自給資材について

「農業簿記11」では対応しておりません。
麦類生産費統計調査票【はだか麦】「調査票の記入の仕方」を参照しご記入願います。

【3】対象品目の麦生産のために使用した資材等（続き）

調査票 P 8

6 賃借料及び料金

料 金 名 等		数 量 等	単 位	金 額 （ 円 ）				目負担割合
計			—	万	千	百	十	
負担共同金	薬 剤 散 布		—	7	0	1	0	2 5
	共 同 施 設		—					
	農 機 具 借 料		—	1	1	3	0	1 5
	航 空 防 除 賃	1402.0	a	2	1	0	3	2 5
	賃 耕 料		a					
	は 種 ・ 定 植 料		a					
	収 穫 請 負 わ せ 賃		a					
	乾 燥 調 製 料	10100	kg	1	6	1	6	1 0 0
	そ の 他		—	9	7	0	0	2 5

賃借料及び料金

ダイレクトメニューで【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】と進みます。
合計残高試算表の決算・畑作部門・損益計算書を参照します。

この事例では、賃借料並びに作業委託料の補助科目として共同による
「薬剤散布共同負担金」「航空防除賃」等を設定しています。

損益計算書		畑作部門			
勘定科目	繰 越	借方金額	貸方金額	残 高	構成比 (%)
《経常損益の部》					
[営業損益の部]					
【生産原価】					
種苗費				35,000	
賃借料				183,100	
薬剤散布共同負担金				70,100	
共同施設負担金					
共同苗代負担金					
農機具借料				113,000	
その他					
支払 地代					
作業委託料				381,600	
航空防除賃				210,300	
賃耕料					
は種・田植賃					
収穫請負わせ賃					
乾燥調整料				161,600	
その他				9,700	

数量の入力

「農業簿記 1 1」では対応しておりません。
元帳に数量（面積や重さ）を入力する事は可能ですが、計算はされません。
麦類生産費統計調査票【はだか麦】「調査票の記入の仕方」を参照しご記入願います。

【4】 物件税及び公課諸負担

調査票 P9

1 物件税

区 分	金 額 (円)	対象品目 負担割合 (%)
計	万 千 百 十	
固定資産税 (建物)	8 3 0 0 0	1 0
固定資産税 (農機具)	1 5 0 0 0	1 5
不動産取得税 (土地以外)		
自動車取得税		
水利地益税		
都市計画税 (土地以外)		
共同施設税		

2 公課諸負担

区 分	金 額 (円)	対象品目 負担割合 (%)
計	万 千 百 十	
集落協議会費 (地域集落等の会費)	4 5 0 0	2 0
農業協同組合費	6 0 0 0	2 0
農事実行組合費 (麦作部会等の各種部会費)	8 5 0 0	2 0
農業共済組合賦課金	1 6 0 0 0	2 5

物件税及び公課諸負担

ダイレクトメニューで【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】と進みます。
合計残高試算表の決算・全部門・損益計算書を参照します。
この事例では、物件税並びに公課諸負担の補助科目として「固定資産税」「自賠責保険」等
を設定しています。

ここでは、共通部門で入力したので、全部門を選択していますが、わかりやすいよう全て畑
作で負担したと見なしています。
なお、自動車に関する物件税（自動車重量税、自動車税、軽自動車税）は、調査票11ページ
の【8】自動車の所有状況に記入してください。

勘定科目	繰 越	借方金額	貸方金額	残 高	構成比 (%)
《経常損益の部》					
[営業損益の部]					
【販売費一般管理費】					
租税 公課				133,000	
固定資産税・建物				83,000	
固定資産税・農機				15,000	
自動車取得税					
水利地益税					
都市計画税					
共同施設税					
自動車保険料					
軽・自動車税					
自動車重量税					
自賠責保険					
集落協議会費				4,500	
農業協同組合費				6,000	
農事実行組合費				8,500	
農業共済組合賦課金				16,000	

【5】土地改良及び水利費

調査票 P9

1 土地改良区費

事業種類	対象品目作付ほ場負担金額（円）										対象品目 負担割合 （％）				
	維持負担金					償還金									
ほ場整備事業				万	千	百	十				万	千	百	十	20
農地開発事業				2	2	0	0	0							20
かんがい排水事業				1	2	0	0	0							20
農道整備事業															
その他（整地、表土扱 いのない事業）															

2 水利費等

費用名	対象品目作付ほ場負担金額（円）										対象品目負担割合（%）
水利に係る費用計			万	千	百	十					20
			6	5	0	0					

土地改良区費及び水利費

ダイレクトメニューで【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】と進みます。
合計残高試算表の決算・全部門・損益計算書を参照します。

この事例では、土地改良水利費の補助科目として「ほ場整備事業維持負担金」「水利組合費」等を設定しています。

損益計算書

畑作部門

勘定科目	繰越	借方金額	貸方金額	残高	構成比（%）
《経常損益の部》					
[営業損益の部]					
【生産原価】					
土地改良水利費					
ほ場整備事業				14,000	
農地開発事業				22,000	
かんがい排水事業				12,000	
農道整備事業					
その他（整地・表土扱いのない事業）					
水利組合費				6,500	
揚水ポンプ組合費					
その他					
~~~~~					
[営業外損益の部]					
【営業外収益】					
ほ場整備事業償還金				7,000	

【6】借入金（買掛未払金を含む。）及び支払利子

調査票 P9

資金名（用途）		調査開始時 未償還残高（円）					支払利子額（円）					対象品目 負担割合 （%）
		万	千	百	十	円	万	千	百	十	円	
借入金	計											
	△△資金 （トラクター用）	3	2	5	0	0	4	2	0	0	0	1 5
	××資金 （コンバイン用）	6	0	0	0	0	2	2	0	0	0	1 5
	買掛未払金											2 0

借入金

ダイレクトメニューで【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】と進みます。  
前期の合計残高試算表の決算・全部門・貸借対照表と今期の合計残高試算表の決算・全部門・損益計算書を参照します。

この事例では、長期借入金及び利子割引料の補助科目として「△△資金（トラクター用）」、「××資金（コンバイン用）」等を設定しています。

貸借対照表		全部門			
勘定科目	繰越	借方金額	貸方金額	残高	構成比（%）
《経常損益の部》					
[経常損益の部]					
【流動負債】					
買掛金				30,000	
短期借入金					
【固定負債】					
長期借入金				3,850,000	
△△資金（トラクター用）				3,250,000	
××資金（コンバイン用）				600,000	

借入金（支払利子）

損益計算書		全部門			
[営業外損益の部]					
【営業外費用】					
利子割引料				64,000	
短期借入金利子					
長期借入金利子					
△△資金（トラクター用）				42,000	
××資金（コンバイン用）				22,000	

【7】建物及び構築物（土地改良施設を含む。）の所有状況

調査票 P10

	番号	名 称 等	種 類  コ ー ド	構 造  コ ー ド	新 築  ○ 古 中 古 ●	耐 用 年 数 (年)	取 得 年 月		取 得 価 額 (円)  (購入金額から補助金を控除した額を記入してください。)	農 業 経 営 基 盤 強 化 準 備 金 (円)  (建物等の取得のために取り崩した準備金の額を記入してください。)	修 繕 費 (円)  (当年の当該建物等の修繕費を記入してください。)	保 険 料 (円)  (当年の当該建物等の災害保険料を記入してください。)	対 象 品 目 負 担 割 合 (%)	年 内 異 動 状 況	
							年 (西暦)	月						異 動 コ ー ド	異動に伴う発生金額 (円)  (売却金額、取り壊しの金額)
負担割合の変更の例	1	納屋	3	6	○		2005	9	1300000		50000		<del>25</del>		
共同所有の例	2	車庫（４戸で共同所有）	8	5	○		1980	8	1300000				10		
準備金使用の例	3	倉庫	13	1	○		2015	2	3000000	3000000			10		
新築の例	15	納屋（新築）	3	6	○		2020	6	3000000				10		

**建物等の取得年月と取得価格（自動車、農業機械も同様）**

ダイレクトメニューで【資産台帳】⇒【減価償却資産集計表】と進みます。  
各資産名の取得年月日と取得価格を参照します。

減価償却資産集計表								
コード 事業区分 資産区分	資産名称					取得価格	普通償却額	売却価額
	摘要					交付金等	割増特別償却額	売却損益
	取得年月日	償却方法	耐用年数	償却率	期間	差引取得	当期償却費計	期首帳簿価額
	売却除去日	事業専用	数量	残存 1	残存 2	償却基礎金額	償却費累計	期末帳簿価額
1 農 業 建物	納屋					130,000		
	2005/9							
2 農 業 建物	車庫（４戸で共同所有）					130,000		
	1980/8							
3 農 業 建物	倉庫					300,000		
	2015/2							
4 農 業 建物	納屋（新築）					300,000		
	2020/6							

## 修繕費

ダイレクトメニューで【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】と進みます。  
合計残高試算表の決算・**全部門**・損益計算書を参照します。

この事例では、修繕費の補助科目として「建物修繕費」「車修繕費」等を設定しています。ここでは、共通部門で入力したので、全部門を選択していますが、わかりやすいよう全て畑作で負担したと見なしています。

損益計算書		全部門			
勘定科目	繰 越	借方金額	貸方金額	残 高	構成比 (%)
《経常損益の部》					
[営業損益の部]					
【生産原価】					
修 繕 費				170,000	
建物修繕費				50,000	
農具修繕費				50,000	
車修繕費				70,000	

【8】自動車（自動二輪・三輪を含む。）の所有状況

取得年月と取得価格

本マニュアルP26と同様、「減価償却資産集計表」を参照して転記してください。

調査票 P11

番号	名称等	種類 コード	型式 コード	新 品	古 中	耐用 年数 (年)	取得年月		取得価額 (円) 購入金額から補助金を控 除した額を記入してください。	修繕費 (円) 当年の当該自動車等の 修繕費を記入してくださ い。	自動車保険料 (円) 当年の当該自動車 等の保険料を記入し てください。	自動車・ 軽自動車税 (円) 当年の当該自動車 等の自動車税又は軽 自動車税を記入し てください。	当年、車検を受けた自動車等 について記入してください。		対象 品目 負担 割合 (%)	年内異動状況	
							年 (西暦)	月					自動車重量税 (円)	自賠責保険 (円)		異 動 コ ード	売却金額 (円) 廃棄（無償譲渡を含む。）した 場合は、「0（ゼロ）」
1	軽トラ	1	1	○	○	3	2014	4	85000	50000	35000	4000	26500	6600	15		
2	普通乗用車	2	2	○	○		2013	1	150000	20000	40000	45000			20	1	50000
15	貨物トラック (4戸で共同所有)	1	3	○	○		2019	12	380000		350000	11500			15		

修繕費

ダイレクトメニューで【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】と進みます。  
合計残高試算表の決算・**全部門**・損益計算書を参照します。  
建物の修繕費と同じですが、合算されているので、元帳で内訳を確認します。

損益計算書		全部門			
勘定科目	繰越	借方金額	貸方金額	残高	構成比 (%)
《経常損益の部》					
[営業損益の部]					
【生産原価】					
修繕費				170,000	
建物修繕費				50,000	
農具修繕費				50,000	
車修繕費				70,000	

自動車保険料、自動車・軽自動車税、自動車重量税、自賠責保険

ダイレクトメニューで【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】と進みます。  
合計残高試算表の決算・**全部門**・損益計算書を参照します。

この事例では、租税公課の補助科目として「自動車税」等を、損害保険料の補助科目  
として「自動車保険料」を設定しています。  
ここでは、各項目毎に合算されているので、元帳で更に内訳を確認します。

損益計算書		全部門			
勘定科目	繰越	借方金額	貸方金額	残高	構成比 (%)
【販売費一般管理費】					
租税 公課				335,100	
固定資産税・建物				65,000	
軽・自動車税				★ 68,300	
自動車重量税				26,500	
自賠責保険				6,600	
損害保険料					
自動車保険料				425,000	

★「軽・自動車税」には、次ページの農業機械の税金も含まれます。

【9】 農業機械（生産管理機器を含む。）の所有状況

調査票 P12

番号	名 称 等	種類 コード	型式 コード	新 区 分 古 中 古	耐用 年数 (年)	取得年月		取 得 価 額 (円) 購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。	農 業 経 営 基 盤 強 化 準 備 金 (円) 農業機械の購入のために取り崩した準備金の額を記入してください。	修 繕 費 (円) 当年の当該農業機械や生産管理機器の修繕費を記入してください。	保 険 料 (円) 当年の当該農業機械の保険料を記入してください。	軽自動車税 (円) 当年の当該農業機械の軽自動車税を記入してください。	対象 品目 負担 割合 (%)	年 内 異 動 状 況		
						年 (西暦)	月							異動 コード	売却金額 (円) 廃棄（無償譲渡を含む。）した場合、「0（ゼロ）」	
1	トラクター	43	○	○	4	2000	3	5100000				2400	15	2		0
2	トラクター（リース）	43	○	○		2017	11	5840000		50000		2400	15			
3	普通型コンバイン （4戸で共同所有）	216	○	○		2005	5	700000				600	80			
15	自脱型コンバイン	202	○	○		2019	11	8300000	5000000			2400	15			

農業機械等の取得年月と取得価格

ダイレクトメニューで【資産台帳】⇒【減価償却資産集計表】と進みます。  
各資産名の取得年月日と取得価格を参照します。

減価償却資産集計表

コード 事業区分 資産区分	資産名称 摘要				取得価格 交付金等 差引取得 償却基礎金額	期間 残存 2
	取得年月日 売却除去日	償却方法 事業専用	耐用年数 数量	償却率 残存 1		
1 農 業 農業機械	トラクター				5,100,000	
	2000/3					
2 農 業 農業機械	トラクター（リース）				5,840,000	
	2017/11					
3 農 業 機械装置	普通型コンバイン（4戸で共同所有）				700,000	
	2005/5					
4 農 業 機械装置	自脱型コンバイン				8,300,000	
	2019/11					

修繕費

ダイレクトメニューで  
【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】  
と進みます。合計残高試算表の決算・**全部門**  
・損益計算書を参照します。

損益計算書

勘定科目	繰 越	借方金額	貸方金額	残 高	構成比 (%)
《経常損益の部》					
[営業損益の部]					
【生産原価】					
修 繕 費				170,000	
建物修繕費				50,000	
農具修繕費				50,000	
車修繕費				70,000	

軽自動車税

租税公課の補助科目として設定した、軽・  
自動車税（前ページ「損益計算書」）を参  
照してください。  
ただし、合算されている場合は、元帳に  
遡って詳細を確認します。

【10】 農具の購入費等

調査票 P13

● 農具・農業被服等の購入費

名 称 等	金 額 ( 円 )	対象品目 負担割合 (%)	内 容 例 示
(計)	5500	25	
農具・農業被服等の			<b>【農具の購入費】</b> ・くわ類、かま類、シャベル類、ホース、じょうろ、防除ネット、防鳥ネット等の購入費  <b>【農業被服の購入費】</b> ・作業着、軍手、ゴム長靴等の農作業用の衣類の購入費

● 生産管理関係の費用

名 称 等	金 額 ( 円 )	対象品目 負担割合 (%)	内 容 例 示
(計)	4400	20	
生産管理関係の費用			<b>【購入費】</b> ・コピー用紙、プリンター、トナー等の消耗品の購入費 ・農業経営に係る事務用機、消耗品（筆記用具、帳簿、ノート、電卓等）の購入費

農具・農業被服等の購入費

ダイレクトメニューで【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】と進みます。  
合計残高試算表の決算・**全部門**・損益計算書を参照します。  
農業簿記では、「農具費」と「作業用衣料費」の勘定科目がありますので、そのまま利用します。

ここでは、共通部門で入力したので、全部門を選択していますが、わかりやすいよう全て畑作で負担したと見なしています。

勘定科目	繰 越	借方金額	貸方金額	残 高	構成比 (%)
[営業損益の部]					
【生産原価】					
農 具 費				4,000	
作業用衣料費				1,500	

生産管理関係の費用

ダイレクトメニューで【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】と進みます。  
合計残高試算表の決算・**全部門**・損益計算書を参照します。  
農業簿記では、「研修費」、「事務消耗品費」及び「通信費」等の勘定科目がありますので、そのまま利用します。

ここでは、共通部門で入力したので、全部門を選択していますが、わかりやすいよう全て畑作で負担したと見なしています。

勘定科目	繰 越	借方金額	貸方金額	残 高	構成比 (%)
[営業損益の部]					
【販売費一般管理費】					
旅費交通費					
研修費				15,000	
接待交際費					
事務消耗品費				1,000	
通信費				28,000	
新聞図書費					

【11】土地の面積及び地代

調査票 P14

1 所有地

(1) 作付地

番号	団地（ほ場）名	土地台帳面積 （a）			作付実面積 （a）			対象品目 負担割合 （%）	地目	
		ha	a		ha	a			田	畑
1	はだか麦（A団地）	2	5	5	2	0	5	5.0 <del>100</del>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
2	はだか麦（B団地）	1	3	0	1	0	0	100	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
3									<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

数量の入力（土地台帳面積・作付実面積・対象品目負担割合）

「農業簿記11」では対応しておりません。  
元帳に数量（面積や重さ）を入力する事は可能ですが、計算はされません。  
麦類生産費統計調査票【はだか麦】「調査票の記入の仕方」を参照しご記入願います。

(2) 建物敷地等

番号	使用地名	総面積 （a）			使用面積 （a）			対象品目 負担割合 （%）
		ha	a		ha	a		
1	車庫	1	3		1	0		10
2	納屋	0	4		0	2		10
3	倉庫	0	5		0	4		10

数量の入力（建物敷地総面積・使用面積・対象品目負担割合）

「農業簿記11」では対応しておりません。  
元帳に数量（面積や重さ）を入力する事は可能ですが、計算はされません。  
麦類生産費統計調査票【はだか麦】「調査票の記入の仕方」を参照しご記入願います。

【11】土地の面積及び地代（続き）

調査票 P14

2 借入地

(1) 作付地

番号	団地（ほ場）名	土地台帳面積 (a)	作付実面積 (a)	支払地代 (円)	対象品目 負担割合 (%)	地目 田 畑
1	はだか麦 (K団地)	6 2 . 5	6 0 . 5	7 2 0 0 0	2 0	○ ○
2	はだか麦 (L団地)	2 1 5 . 0	2 0 0 . 0	2 5 8 0 0 0	1 0 0	○ ○

(2) 建物敷地等

番号	使用地名	総面積 (a)	使用面積 (a)	支払賃借料 (円)	対象品目 負担割合 (%)
1					
2					
3					

数量の入力（建物敷地総面積・使用面積・対象品目負担割合）

「農業簿記 1 1」では対応しておりません。  
元帳に数量（面積や重さ）を入力する事は可能ですが、計算はされません。  
麦類生産費統計調査票【はだか麦】「調査票の記入の仕方」を参照しご記入願います。

支払地代

ダイレクトメニューで【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】と進みます。  
合計残高試算表の決算・畑作部門・損益計算書を参照します。

この事例では、支払地代の補助科目として、「はだか麦 (K団地)」、「はだか麦 (L団地)」を設定しています。

損益計算書

全部門

勘定科目	繰越	借方金額	貸方金額	残高	構成比 (%)
[営業損益の部]					
【生産原価】					
支払地代				330,000	
はだか麦 (K団地)				72,000	
はだか麦 (L団地)				258,000	

数量の入力（土地台帳面積・作付実面積・対象品目負担割合）

「農業簿記 1 1」では対応しておりません。  
元帳に数量（面積や重さ）を入力する事は可能ですが、計算はされません。  
麦類生産費統計調査票【はだか麦】「調査票の記入の仕方」を参照しご記入願います。

【12】 作業別労働時間

調査票 P15

1 家族労働時間

作 業 類	内 容 例 示	氏名	性 別	( 年 齢 )	氏名	性 別	( 年 齢 )	氏名	性 別	( 年 齢 )	氏名	性 別	( 年 齢 )	氏名	性 別	( 年 齢 )
		農林太郎	男	70	農林花子	女	70	農林一郎	男	40	(農水)同居人	男	25	手ゆい・手間替受	女	
種 子 措	選種、浸種、種子消毒、催芽			時間 5			時間			時間			時間			時間
刈 取 穀	麦刈り、運搬、脱穀、稲架作り（取り壊し含む。）、麦稈の処理			10			5			10			5			5
乾 燥	乾燥、調製									5			5			
生 産 理	共同作業打合せ、技術習得、簿記記帳（税務申告は含まない。）			8			3									
間 接 働	建物、農機具等の修繕、購入資材の調達等			6						20						

労働時間

「農業簿記 1 1」では対応しておりません。  
元帳に数量（面積や重さ）を入力する事は可能ですが、計算はされません。  
麦類生産費統計調査票【はだか麦】「調査票の記入の仕方」を参照しご記入願います。

3 支払賃金

区 分	支 払 賃 金 （ 円 ）	対象品目負担割合（%）
男	25000	15
女	10000	25

支払賃金

ダイレクトメニューで【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】と進みます。  
合計残高試算表の決算・全部門・損益計算書を参照します。

この事例では、雇人費の補助科目として、「男雇用」、「女雇用」を設定します。

損益計算書

全部門

勘定科目	繰 越	借方金額	貸方金額	残 高	構成比（%）
[営業損益の部]					
【生産原価】					
雇 人 費				35,000	
男雇用				25,000	
女雇用				10,000	